



岐大のいぶき No.27 アンケート報告！

前号
岐大のいぶき
No.27

前号「岐大のいぶき No.27 (平成26年5月発行)」に、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。アンケートの結果をお知らせします！

返送いただいたアンケートのご意見は、本学広報企画室で広報誌編集の折に検討させていただいております。

No.28では「NHKテレビで落語の全国大会を見ました。優勝した岐大生の女の子のことやサークルのことを知りたいです。次号でぜひお願いします。」「現役学生様子を多く載せてほしいです。」との声にお応えし、策伝大賞で最優秀賞に輝いた「鶏飼家みるく」こと、田中久留美さんと、奥穂高岳夏山診療所学生ボランティアで学生代表の大班長を務めた永瀬裕一郎さんを『いまを駆ける! 岐大生FACE』と題して特集しました。記事内容だけでなく、ページ数や文字の大きさ等、誌面構成に関するご意見もいただいております。

皆様からのご意見は、私たちの広報企画活動のエネルギーとなっております。できる限り誌面に反映して参りますので、是非多数のご意見をお寄せください。

さて、前号「岐大のいぶきNo.27 (平成26年5月発行)」のアンケートの結果をお知らせします。皆様に興味を持っていた記事内容の紹介からです（興味を持った記事について複数回答していただきました）。

特集の「SF世界が現実に…」が最も興味を持っていた記事となりました（46.2%）。続いて「岐大で生まれるもの。最先端の現場。」「Topics」が同率（38.5%）で高い支持を得ました。岐阜大学で行われている最先端の研究や、その成果を社会に還元していく産官学連携の活動に多くの関心が集まった結果となりました。

また、大学の取り組みを紹介する「Topics」が高い支持を得たことはこれまでにないアンケート結果です。岐大のいぶきに掲載しきれない、様々な取り組みを大学のWebサイト (<http://www.gifu-u.ac.jp/>) で情報発信しておりますので是非ご覧ください。

続いて、いただいたご意見をいくつか紹介します。

【新学長あいさつ】：「大学に行けば何かある、という標語が良いと思う。」

【就職の最前線へ】：「岐阜県内でトップクラスの就職率であり、力を入れているのが伝わってきた。」「今回、娘が就活中でお世話になりました。各種のマナー講座の受講もプラスになりましたが、やはり先生方・先輩方の生の声が一番の支えだったように思われます。今後たくさんの情報と、勇気を持って挑むことができる励みをたった一言でも発信していただければ幸いです。」

【広報誌・岐阜大学について】「地元の大学はどんなことをしているのだろう」と思い、『岐大のいぶき』を初めて手にとりました。研究や授業のことがよくわかりました。また、小学生の子供がおりますが、公開講座では子供がワクワクしそうな講座がいくつかあり、是非とも参加したいと思っています。これからも地域に開かれた大学であってください。お願いします。」「他大学まで良く知っている訳ではないのですが、岐大は特別という程、地域密着という印象があります。公開講座だけではなく岐阜のイベント事に何かと関わっていたり、

研究内容も遠く離れた世界のことでなくごく身近なことだったり。そんな所が岐大の大好きな所です。岐大に行けて良かったと本当に思います。」「道の駅で入手しました。広報活動としてはとても積極的な印象を受けました。次号も入手できると良いのですが…。」「初めてこの広報誌を読みました。卒業生として興味が湧きました。もっと世間一般へこの広報誌を配布し、アピールしたらいいのではないのでしょうか。」等々たくさんのご意見をいただきました。「デザイン」「読みやすさ」「情報量」についての結果は下記の表の通りでした。

今後とも、「今」の岐阜大学を広く社会に知っていただけるよう、旬のコンテンツを掲載し、設置場所等についても検討を重ねて参ります。



岐阜大学の取り組みや公開イベントなど、様々な情報をWebサイトで随時発信しています。本誌の過去記事も掲載中です。

▶ <http://www.gifu-u.ac.jp/>

岐大のいぶき No.27 ご意見の集計

☐ 広報誌のデザイン	[良い]	67.0%	(No.26: 79.6%)
☐ 広報誌の読みやすさ	[読みやすい]	64.8%	(No.26: 72.7%)
☐ 広報誌の情報量	[ちょうど良い]	86.4%	(No.26: 77.6%)

引き続き、われわれ広報企画室のメンバー一同、頑張って参ります。今後とも「岐大のいぶき」を、よろしく願いいたします。